

ソフト資産を
生かします。

生産中止部品による 再設計はお任せ下さい。

Z80や周辺LSIの生産中止などでお困りではありませんか??

回路設計 リペアサービス 概要

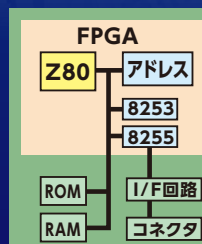
回路設計リペアサービスは主に下記の2つがあります。

- ①ハード的な機能もソフトも全く変更したくない場合
 - ②基本的な機能は継承するが、機能追加やソフト修正などを行いたい場合
- 上記2つのケースは下図のようなイメージになります。

既存基板

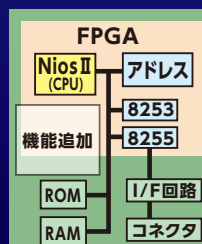


- ① ハード的な機能もソフトも
全く変更したくない場合



- ・ CPUはZ80相当をFPGAに組み込む
- ・ ハード的な機能は同等
- ・ ソフトは変更なし

- ② 基本的な機能は継承するが、
機能追加やソフト修正など
を行いたい場合



- ・ CPUはNiosIIをFPGAに組み込む
- ・ ハード的な機能は既存基板+機能追加
- ・ 既存ソフトを最大限利用して機能追加
ソフトの変換は専任のテクニカル
エキスパートがサポート!

ソフト資産を変更なしで有効活用 ※ 上記①の場合

回路設計 リペアサービス メリット

周辺回路も
FPGAに入れて
基板面積を
小型化

部品点数削減
で部品生産
中止のリスク
が低減

機能アップ、
仕様変更などが
FPGA内部回路
変更で可能

ソフトの処理を
ハード処理に変更
することでソフト
負担を軽減し、
高速処理が可能。

ハードによる
高速処理が
可能

まずはお気軽にお声掛け下さい

東洋レーベル 株式会社東洋レーベル

<http://www.seekgr.com>

〒612-8427 京都市伏見区竹田真幡木町136
(株)東洋レーベル 電子機器事業部
TEL : 075-621-6792 FAX : 075-621-6679
営業Gr. 田中優也 y-tanaka@seekgr.com
池田直樹 ikeda@seekgr.com

回路設計リペアサービスとは？

「回路設計リペアサービス」は生産中止になったLSIの機能をFPGA内に構築し、生産困難になった基板を改版し継続供給可能にします。

従来使用されていたZ80 CPUやその周辺LSI(8255,8251,8253など)は生産中止となり、基板の継続供給が難しくなっています。

回路を再設計し新しいCPUに変更した場合、ソフトを変更せずに移行することは困難です。

一方Z80のソフトは長年に渡り蓄積され、そのソフト資産を有効活用したいという要求があります。またソフト変更する人材や環境がないという問題もあります。

このような問題を解決するのが回路設計リペアサービスです。

Z80や周辺LSIをFPGA内に構築することで、ソフトは一切変更することなく使用可能です。生産困難になった基板をリペア(復旧)します。

回路設計リペアサービスの一般的な流れ

- ① 既存回路図の開示をお願いいたします。(必要であればNDA締結)
- ② 機能追加、変更のご要望を承り、弊社から構成などを提案します。
- ③ 仕様をまとめて見積りを提出します。
- ④ ご発注をお願いいたします。
- ⑤ 回路設計、アートワーク設計を行います(随時ご確認、ご承認)。
- ⑥ 試作完成、立会い、納品。



まずはお気軽にお声掛け下さい

SEEKGR 株式会社東洋レーベル

<http://www.seekgr.com>

〒612-8427 京都市伏見区竹田真幡木町136
(株)東洋レーベル 電子機器事業部
TEL : 075-621-6792 FAX : 075-621-6679
営業Gr. 田中優也 y-tanaka@seekgr.com
池田直樹 ikeda@seekgr.com